

会議結果（報告）

件名	令和7年度 第2回 中野市生涯学習推進会議
年月日	令和8年2月27日（金）午前10時～午前11時
場所	中野市役所4階 会議室42
出席者	生涯学習推進会議委員11名 事務局：小林生涯学習課長、富田課長補佐兼生涯学習推進係長、千田副主幹
欠席者	長張茂樹委員、高野美紗委員、坂井正幸委員、阿部達也委員、小林則政委員、竹内義明委員、藤沢高広委員
会議概要	<p>1 開会 生涯学習課長</p> <p>2 会議事項</p> <p>(1) 中野市生涯学習基本構想について</p> <p>①第3次中野市生涯学習基本構想策定方針（案）について 資料1の赤字部分を説明</p> <p>②第2次中野市生涯学習基本構想の総括等（案）について 資料2の赤字部分を説明</p> <p>③生涯学習に関するアンケートについて 資料3の赤字部分を説明</p> <p>【質疑・応答】</p> <p>①第3次中野市生涯学習基本構想策定方針（案）について</p> <p>委員長：1ページから2ページにかけての新たな生涯学習基本構想の必要性に関する部分、この辺りの分析については、アンケートが回収されてから、また検討します。ここで決定というわけではないので、その時には充分にご検討いただければと思います。 現段階ではこの方向でということです。</p> <p>②第2次中野市生涯学習基本構想の総括等（案）について</p> <p>委員長：これについても、大事な部分ですが、現時点でということにな</p>

ります。

③生涯学習に関するアンケートについて

委員長：小委員会でも、団体向けについては特に意見はありませんでした。それでは、一般向けにつきましてご意見はありますか。

A 委員：男性に積極性がないということがあります。この部分の施策について是非、積極的に進めていただきたい。

事務局：今後、各課の方に基本構想を策定する際に、投げかけをしますので、そういったご意見があったということを伝えながら、各課の意見を集約するとともに、アンケートをこれから実施しますので、それを踏まえた中で方向性を決めていきたいと思ます。

B 委員：アンケートの中身について、いろいろ検討していると思いますが、アンケート結果については丁寧にまとめられていて、素晴らしいと思いますが、この後ということ考えた場合に、現在の基本構想の6ページに「余暇時間にやりたいこと」ということが示されていて、これは施策としては対応しやすいと思うんです。状況を把握して、施策に反映するという意味で。ところが、次のページを見ると「学習できない理由」という設問で、時間がないという。それについて、状況把握して、次に施策反映するという場合に、この反映はどういう風に考えていくかということが凄く難しいと思います。それを頭に入れながらこちらの構想を作られていると思うんですが、今後、このようなことが出てくると思います。そのようなこともイメージしながら実施すればよいと思います。状況把握は大切ですが、行政としては、施策を実施しなければいけないので。もしかしたら、今後、違う意見が出てくるかも知れないと今日の資料を見て思いました。

委員長：とっても大切な意見だと思います。

C 委員：問4(2)を35個の設問を並び替えていただいたと思いますが、③25の女性問題という選択肢があるんですが、聞き方が悪いと女性の負担になって、差別とかにもなりかねないなど。女性という単語だけを取り上げるのはどうかと思いました。それと、④の健康づくりなどその他の学びの30なんですが、私自身、これは女性として別に考えているんですが、妊娠、出産、介護、看護を全部一緒にするのではなくて、妊娠・出産で一つで、介護・看護とは別なのではないかと思いました。実際に介護をしている姿を見ていて、出産とは違うなど。女性問題というと、男性も出産に関わるし、介護も関わると思います。その方が分かりやすいかなと思いました。

事務局：言葉については、ご指摘のあったとおりでと思います。女性問題という言葉は別の言い回しで検討します。それともう一点ご指摘のありました30番に関しては項目を別ける形で対応したいと思います。

D 委員：小委員会でも言わせていただいたんですが、問9の選択肢の中にスポーツ施設が少ないです。全部書くと大変だと思うのですが、2次の時にはなかったアーチェリー場とか旧永田小学校の施設であるとか、それくらいは入れた方がいいのではないかと思います。

事務局：1点すみません。今、ご指摘のありました施設の関係なんですが、6ページ、7ページの問9の※の部分の中の37、38という選択肢はありませんので、修正させていただきます。

委員長：前回の小委員会で、前回のアンケート回収率が40.4%であったので、なんとか高くできないかという話題が出ました。これをもう少し高くするにはどうしたらよいかということで、アンケートへの働きかけもあるでしょうし、それからもう一つ大事な点として、アンケート項目が多すぎるのではないかという話題

が小委員会で出ました。今、9ページにわたってアンケートがなされている訳ですが、なんとかアンケート項目を少なくできないかと。なかなか小委員会でも良いアイデアが出ていません。皆さんから何か良い意見はございますか。ないようでしたら、事務局、副案はありますか。

事務局：事務局として提案させていただきます。今、委員からアンケート回収率が非常に低いし、アンケート項目が非常に多いというご意見がありました。そこで、皆様方にお伝えすることが2点あります。まず1点目です。第2次生涯学習基本構想のアンケートの部分を抜粋して皆様方にお配りしましたが、4ページの◆生涯学習に対する市民意識、6ページの◆学習に対する意欲、7ページの◆生涯学習への取り組みの阻害要因の3つの視点から分析しています。まず、生涯学習に対する市民意識に対応する設問として、8ページの間13、間14、そして、学習に対する意欲に対応する設問として、間3、間4、最後に、生涯学習への取り組みの阻害要因に対応する設問として、間2、間4(7)から分析しています。よって間2、間3、間4、間13、間14は前回の分析の柱としての設問ですので、残すべき必要な設問と考えます。逆に間8の指導者に関する設問や間9、間10、間11の施設に関する設問については、設問数が多いということ考えると削除してもいいのではないかと考えます。2点目として、2ページ目の先ほど話がありました35個の長い選択肢があると思いますが、この選択肢と5ページ目の選択肢が全く同じものとなっております。よって、間6で選択肢を示すことを削除し、代わりに設問の文中で、間4(2)の選択肢より主なものを3つ以内で選んでくださいと示したいと考えております。

委員長：これによって、ざっと見るとページ数が9ページから6ページになります。さて、今、事務局から副案がありました。これ

はカットしてもらっては困るとか、逆にこれはカットした方がよいのではないかとか、自由にご意見ください。

E 委員：2ページから3ページにかけての35の選択肢を別表にしてはどうでしょうか。別表から選んでくださいという風に後ろに付けるとか。

事務局：回答方式がLINEでの回答になるので、別表で回答できるか確認した上で、改めて回答します。

F 委員：5ページの設問はどういう方向性のものを学んでいきたいかということで、35個にするのではなく、大きく分けた4つにしたほうがよいのではないですか。

委員長：これを見て、大きな分類で4個、細部の分類で35個があると思いますが、両方数字だと混乱するのではないのでしょうか。例えば35の選択肢から選んでもらう時には、大きな分類には番号をつけないとか。

事務局：検討させてください。

委員長：確認です。設問8、9、10、11は削除でよいですか。

F 委員：経年比較をするという部分は大丈夫ですか。以前に、経過を見ていくことが大事と言われていたので。

委員長：確かに問2、問3、問4、問13、問14を中心に分析しているのですが、他の問8、9、10、11もここには載ってこないけれども経年比較で分析するのではないかということですね。

事務局：本来であれば、1回目、2回目と対比できるような変化を見比べることは非常に大切なことだと思いますが、やはり、設問数が多い、回収率が低いということがありますので、なんとか回収率を上げるための方法が他にあればよいのですが、設問数が少なくなれば回収率が上がるのではないかとということで提案させていただきました。

C 委員：問9のことなんですが、先ほどから出ているスポーツについて

私は尊重したくてとても大事だと思います。例えば問の仕方を変えるとか、もっと簡略化するならば各公民館とか各子育て支援センターまとめてしまうとか。その代わりに、先ほど折角出来たアーチェリー場を書くとか、中野市にこういう施設があるということは見ないと分からないと思うので、逆にこういうところもあるんだな、使えるんだなというきっかけにもなると思うので、市民への周知の意味や公共施設もみんなに使ってもらうためにもこの設問は残した方が良いのではと思います。コンパクトにまとめたら削除しなくても良いのではと思います。

委員長：この問9に関しては、D委員も小委員会でおっしゃっていましたが。

D委員：コンパクトにまとめると選択肢も減るのかなと思います。アーチェリー場が出来たことを知らない市民の方もたくさんいらっしゃると思います。旧永田小学校の施設にしても。問9を短くまとめて質問できればよいと思います。

委員長：この問9に関しては、(1)だけにするとか。その辺も事務局で検討してみてください。

事務局：今、ご指摘がありましたように、3、4、5、6は公民館として一括りにまとめられると思いますし、図書館も一括りにできると思いますので、もう少しすっきりする形で。新たに出来たアーチェリー場等については、スポーツ施設で一括りにするのではなく、付け加えるような形で対応したいと思います。

B委員：団体のアンケートに関して、削除の関係は個人アンケートと同様な部分は削除ということによろしいですか。

事務局：はい。よろしいかと思います。

A委員：このアンケートを取ることによって実効性の担保は保たれるのですか。

事務局：生涯学習の推進会議の一回目の時に、各課の方で生涯学習に関

係する事業について、どんな状況ですか、それに対して次年度は
どういう計画を上げていますかというような、実施状況、計画と
いうものをまとめて委員の皆様にお示しすることになっていま
す。本年度もこれでとりまとめをして、また来年度の1回目の会
議の時に委員の皆様にお示しすることができると思うのですが、
今回のアンケートのようなものを各課へ聞いて、直接ではないか
も知れませんが、活動状況を把握するという意味では実施状況、
実施計画というものを行っています。

A 委員：何%達成したまでは調査しないのですか。

事務局：そこまではしていません。

A 委員：やる必要はないということですか。

事務局：なかなか達成度を数値化するというのは難しいと思います。

抽象的な目的もあると思いますので、それがどの程度達成され
たかを示すのは難しいと思います。

3 その他

- ・資料1の4ページに基づき構想策定までの日程（上半期）を説明
- ・各々の会議については、改めて会議日程の通知を送付
- ・保健補導委員会は今年度で解散

4 閉会

生涯学習課長

生涯学習推進会議委員名簿

(任期：令和7年6月1日～令和9年5月31日)

氏名	機関団体名	備考
増田 正明	社会教育委員	出席
阿部 恵子	社会教育委員	出席
長張 茂樹	社会教育委員	欠席
高野 美紗	社会教育委員	欠席
阿部 達也	社会教育委員	欠席
藤澤 重徳	社会教育委員	出席
西山 真希	社会教育委員	出席
未 定	市区長会	—
坂井 正幸	公民館運営審議会	欠席
小林 則政	図書館協議会	欠席
寺島 正友	文化財保護審議会	出席
黒岩 美智子	保健補導員会	出席
山口 光雄	スポーツ推進委員会	出席
竹内 義明	シニアクラブ連合会	欠席
田中 健太郎	北信州能力開発センター	出席
清野 友幸	公募委員	出席
山口 佐織	公募委員	出席
宮崎 美江	公募委員	出席
藤沢 高広	公募委員	欠席

(敬称略)